

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		5/27~6/3	6/3~6/10	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.17	0.11
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.066	0.086
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.070	不検出
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.10	0.076
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.048	不検出
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.096	0.039
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.071	0.033
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.057	0.066

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		5/27~6/3	6/3~6/10	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.050	0.029
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.031	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説 ●

今回は、南相馬市10測定地点におけるセシウム137濃度が平均0.06 mBq/m³と極めて低い濃度でした。セシウム134は検出されず、大気浮遊じんを介した健康影響については心配不要です。
放射能に限らず、新型コロナウイルスなどを体内へ取り込まないことが鉄則です。江戸時代に来日した外国人の多くが「日本人は庶民もこざっぱりと清潔な身支度で、生活まわりも美しくすることに気を配っている稀有な民族である」と驚いたといえます。(1) 生活環境を清潔に保つ、(2) 外出から帰ったら手を洗い、うがいをする、(3) 体を清潔に保つ、(4) 美しい自然を愛でる、といった古くから日本人に当たり前に備わっている衛生・道徳観念を大切に、継続して実行することが自分の健康を守るために一番大切なことです。